

製品名: OPCML ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87592**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:38 kDa; Observed MW:50 kDa

抗原情報

遺伝子名	OPCML
別名	OPCM; OBCAM; IGLON1
遺伝子ID	4978
SwissProt ID	Q14982
免疫原	ヒト OPCML の合成ペプチド

背景

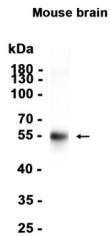
この遺伝子は、免疫グロブリンタンパク質スーパーファミリーの IgLON サブファミリーのメンバーをコードしています。コードされ

ているプレタンパク質は、タンパク質分解によって成熟タンパク質を生成します。このタンパク質は細胞膜に局在し、オピオイド受容体機能において補助的な役割を果たす可能性があります。この遺伝子はラットとウシに相同遺伝子を持っています。ラット遺伝子によってコードされているオピオイド結合細胞接着分子は、酸性脂質存在下でオピオイドアルカロイドに結合し、 μ リガンドに対して選択性を示し、GPI アンカー型タンパク質として機能します。コードされているタンパク質は進化の過程で種間で高度に保存されているため、哺乳類のシステムにおいて基本的な役割を果たしている可能性があります。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはタンパク質分解によって処理されるアイソフォームをコードしています。[RefSeq 提供、2016年1月]

研究分野

-

画像データ



OPCML ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。